



会 議： 国際試験水槽委員会（ITTC）諮問委員会（Advisory Council）

開催場所： National Research Council, St. Johns, Canada

会議期間： 2016年9月27日～28日

参加者： 30名

海技研からの出席者： 宇都 正太郎：特別研究主幹・海洋開発系長

概要

- 第28期 ITTC（2015-2017）では各技術委員会において水槽試験法等に関わる推奨手法及びガイドライン等に関する技術検討を行っている。
- 諮問委員会ではこれらの検討状況をレビューし、その最終化に向けてコメントをとりまとめた。
- 第29期 ITTC の諮問委員会議長の選出が行われ、ウィーン水槽の Gerhard Strasser 氏が再選された。

主な貢献

宇都は、ITTC における技術委員会（特に推進性能技術委員会、実海域性能に関する特別技術委員会、省エネ手法に関する特別技術委員会）の検討状況のレビューを行い、審議に貢献した。



ITTC 諮問委員会会合



主な審議結果

当所職員が担当した事項の主な審議結果は以下の通りである。

1 技術委員会における検討状況のレビュー

初めに WG に分かれて担当技術委員会の進捗状況報告及び推奨手法案の審議が行われた。その後、総会で総括審議を行った。主要な審議結果を以下に示す。

Resistance Committee

最小模型サイズについて特定の値を提示することは困難と思われるが、EEDI 認証機関からの質問に対してしっかり回答する必要があるため、Resistance Committee 及び Propulsion Committee に対し、今期中に結論を出し、推奨手法に記載するよう求めることになった。

Specialist Committee on Hydrodynamic Noise

本分野における ISO での審議が進んでいるため、この ISO 規格に対する ITTC としての基礎文書とすべく、推奨手法案を早急に作成し IMO に提出することを諮問委員会から技術委員会に依頼することになった。

Specialist Committee on Performance of Ships in Service

試運転実施解析法に関する推奨手法 7.5-04-01-01 にコメント未反映の箇所や誤りが多く、完成度が低いため 10 月末までに修正版を提出するよう依頼することになった。

Specialist Committee on Energy Saving Methods

摩擦修正に対する手法案 (Resistance and Propulsion Tests and Performance Prediction with Skin Frictional Drag Reduction Techniques) は本質的な問題があると判断されるため、諮問委員会として不採用とすべきと考えるが、諮問委員会と技術委員会議長とで、十分にコミュニケーションをとる必要があるとの結論になった。

Sea Keeping Committee

実海域における船速低下係数 f_w に関する推奨手法案について、前回の諮問委員会で一つの方法に絞るように提案したものの、複数の方法が列記されていた。そのため、実用性を考慮して妥当性 (fidelity) のレベルを明確にするように依頼することになった。

2 その他

2.1 次回の ITTC 総会について

次回の ITTC 総会は、Wuxi の Inter Continental Hotel で 2017 年 9 月 17 日～22 日に開催されることが、ITTC 理事会 (Executive Committee) 議長の Weng Zhenping (CSSRC 中国) より報告された。プログラムは一部見直しを行うことになった。

2.2 MAERSK からの質問に対する対応

馬力推定結果にばらつきが大きいとの MAERSK からの指摘を受けて、ヨーロッパ 3 水槽及び韓国の水槽が ITTC 推奨手法による水槽試験及び実船馬力性能推定の再解析を要請されている。検証



結果を踏まえ、最終的には ITTC による実船馬力性能推定法の改良につなげ、ITTC 全体の成果とすることを目的とするとの報告があり、了承された。

2.3 第 29 期 ITTC 諮問委員会議長及び副議長の選定

諮問委員会議長には Gerhard Strasser 氏と Neil Bose 氏（オーストラリア海事大学）が立候補し、無記名投票の結果、Strasser 氏が次期議長として再選された。副議長は他に候補者がなく、JMU 大森氏が無投票で再選された。

2.4 IMO への水槽リスト提案

ITTC から IMO に認証機関として、水槽試験施設リストを提出したいとの提案があり、諮問委員会議長が IMO 事務局にコンタクトし、必要な要件を確認の上、その後 2017 年の IMO 海洋環境保護委員会への提出に向けて各国に協力を要請することになった。

2.5 次回諮問委員会会合

次回の諮問委員会の会合は 2017 年 3 月 14 日～16 日に Gosport（英国）で開催される。ホストは Dr. Paul Crossland（QinetiC）である。